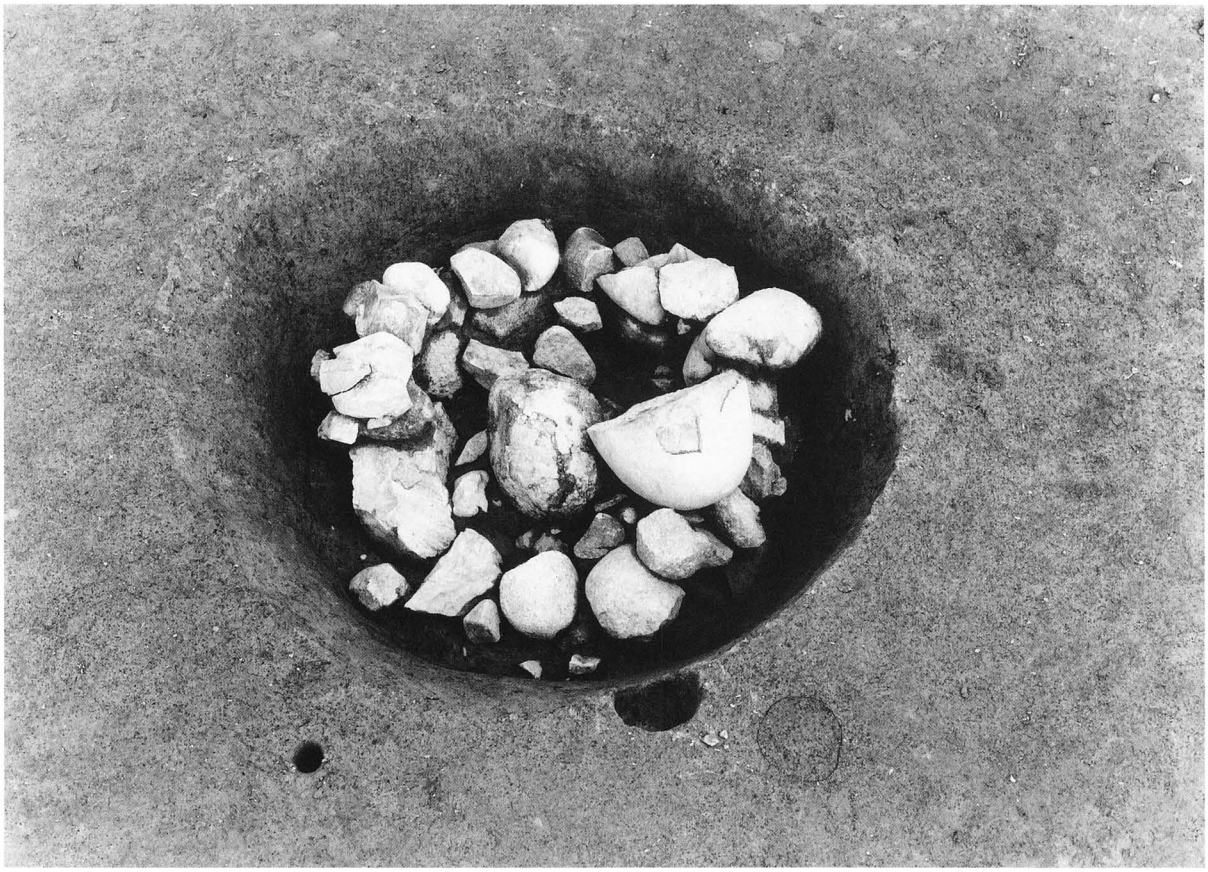
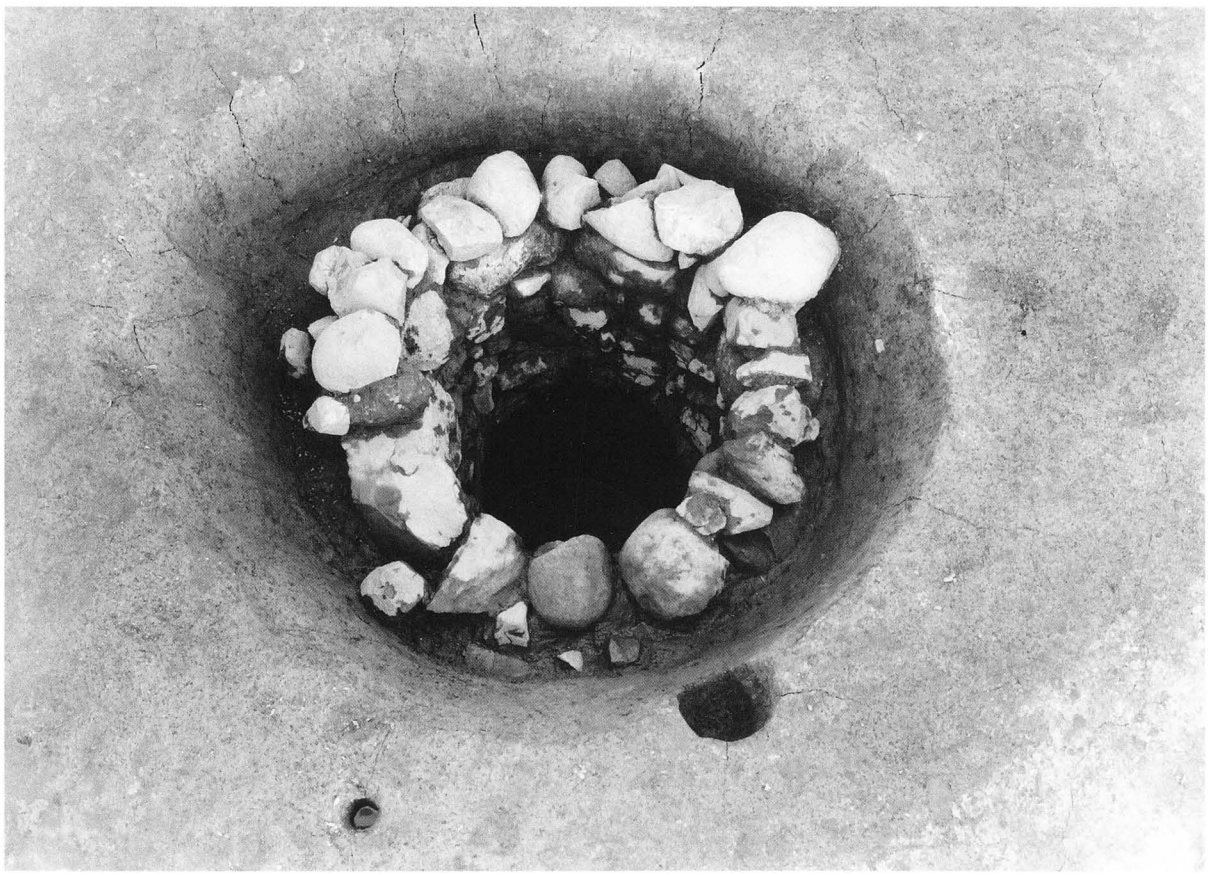
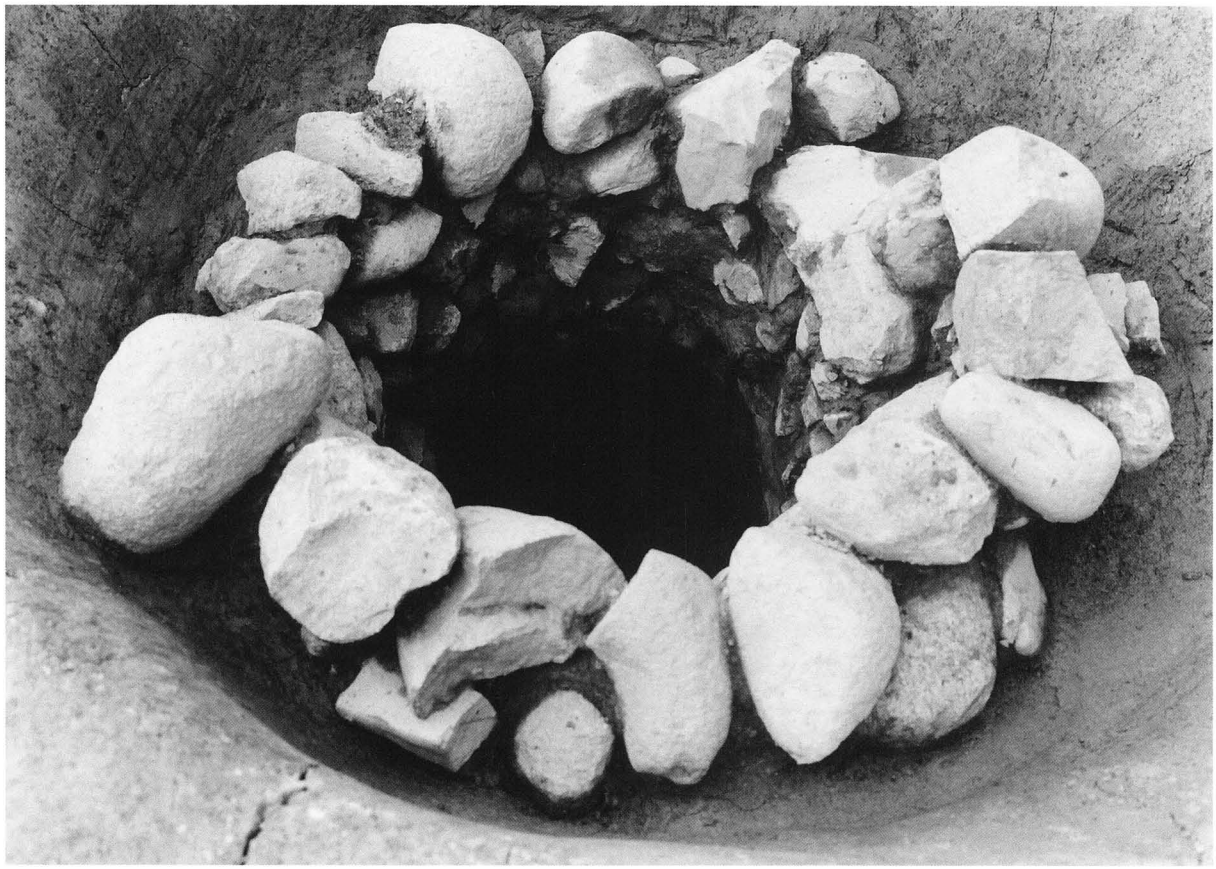


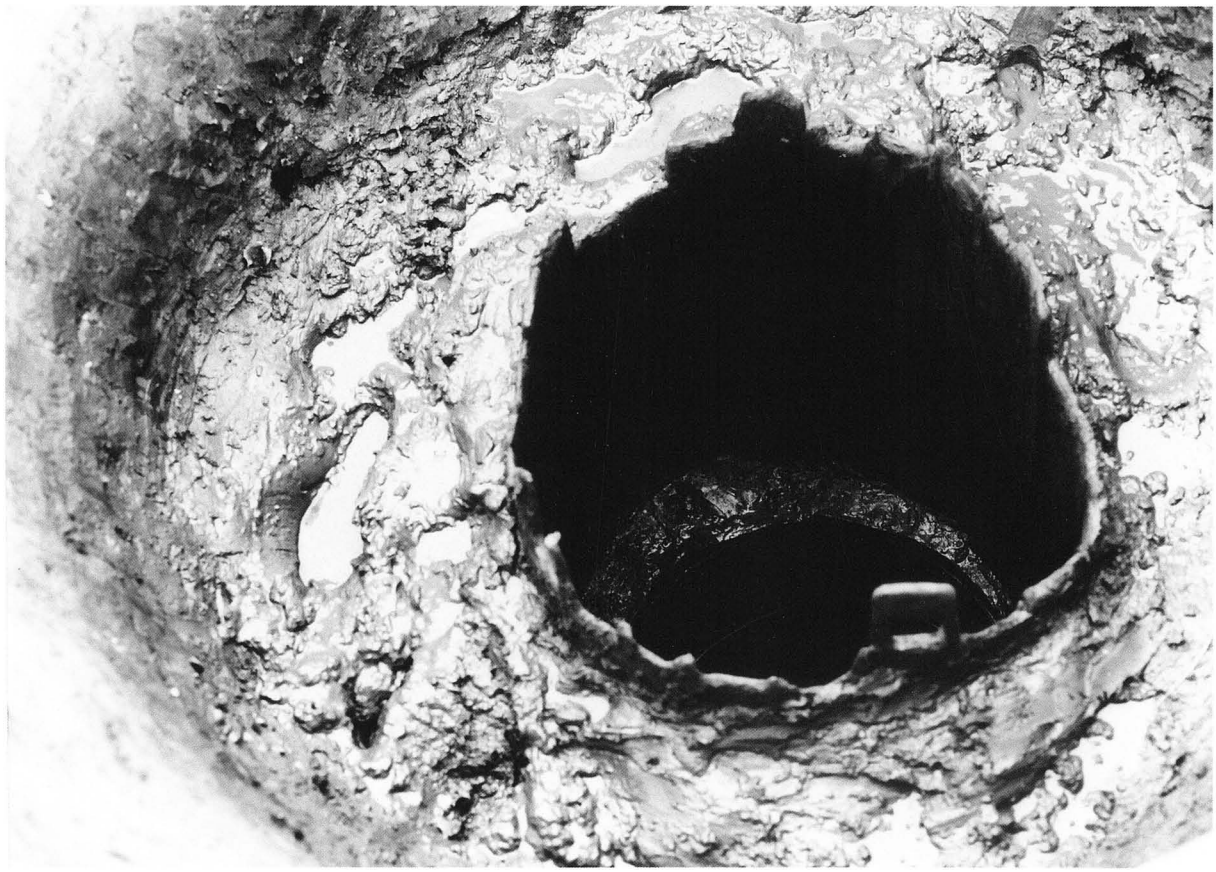
井戸５　検出状況



井戸５　井側（上部石組み）（１）



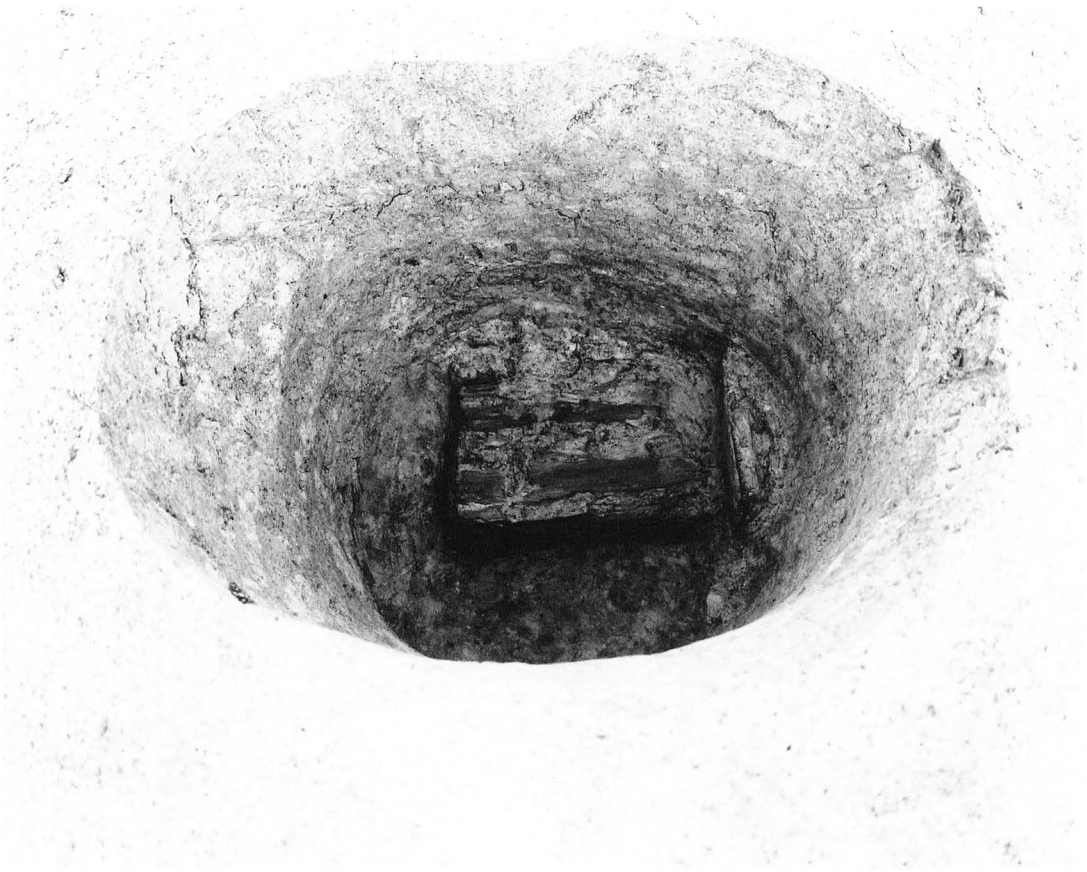
井戸５　井側（上部石組み）（２）



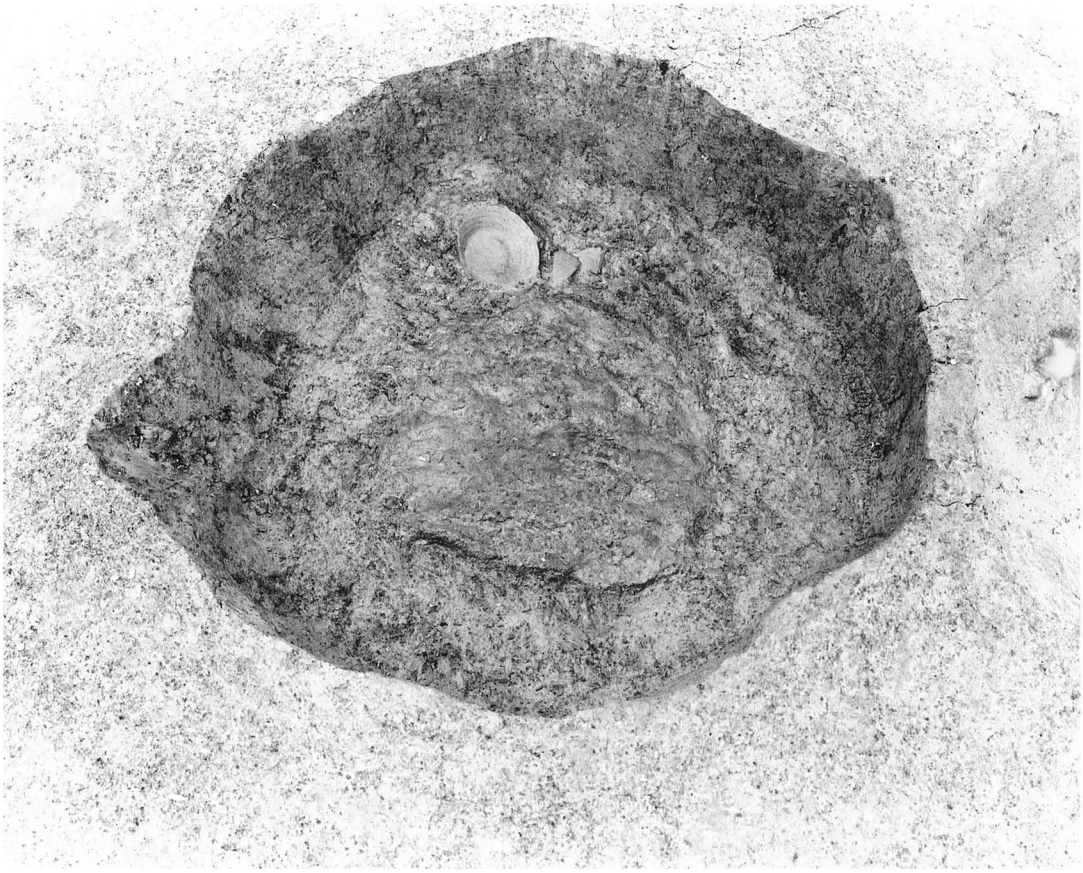
井戸５　井側（組桶）

墓2（1）遺物出土状況

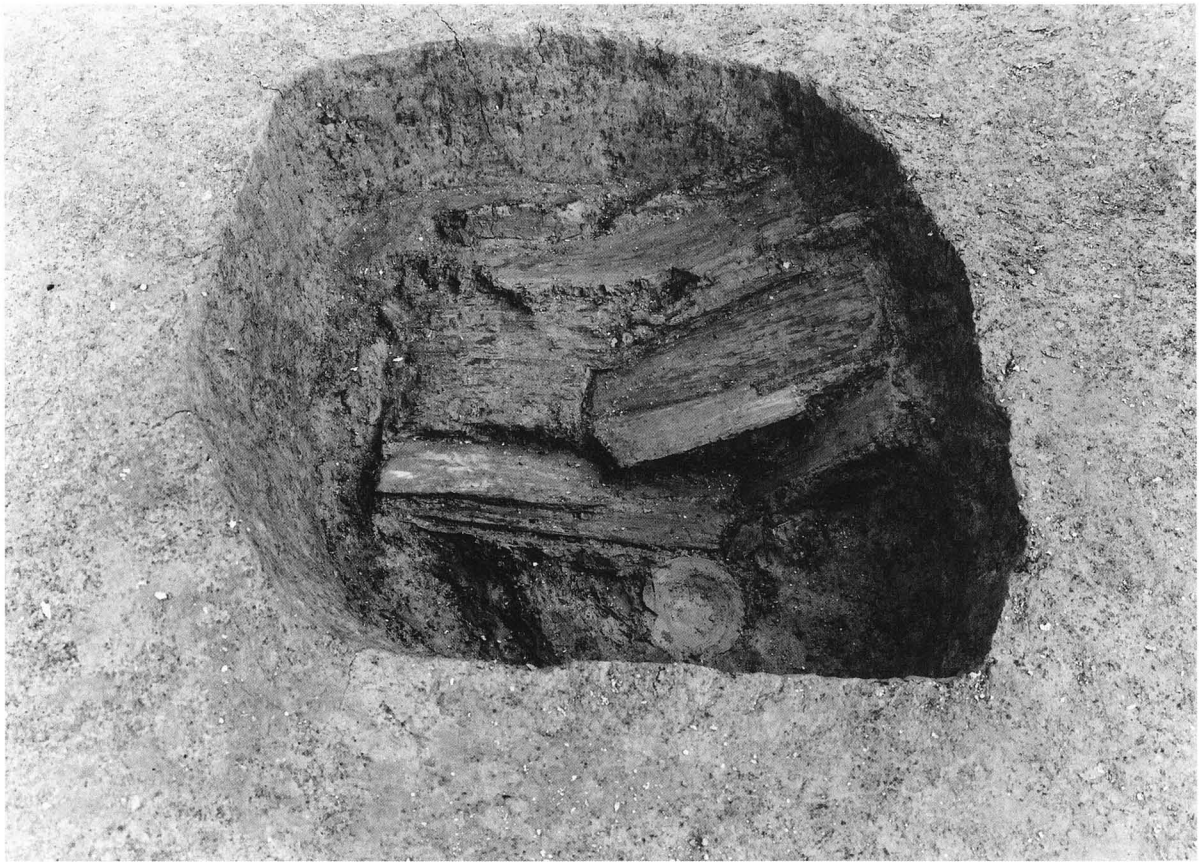
墓2（2）桶棺



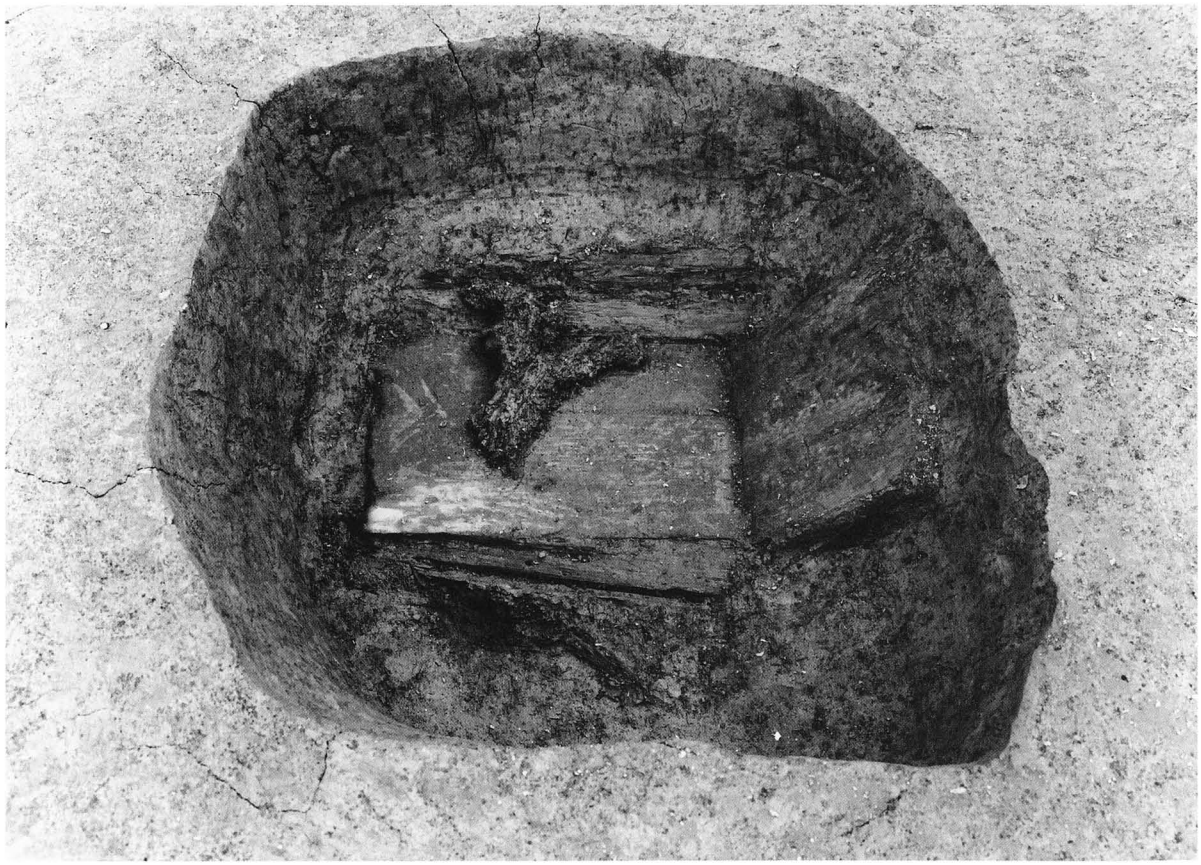
墓3



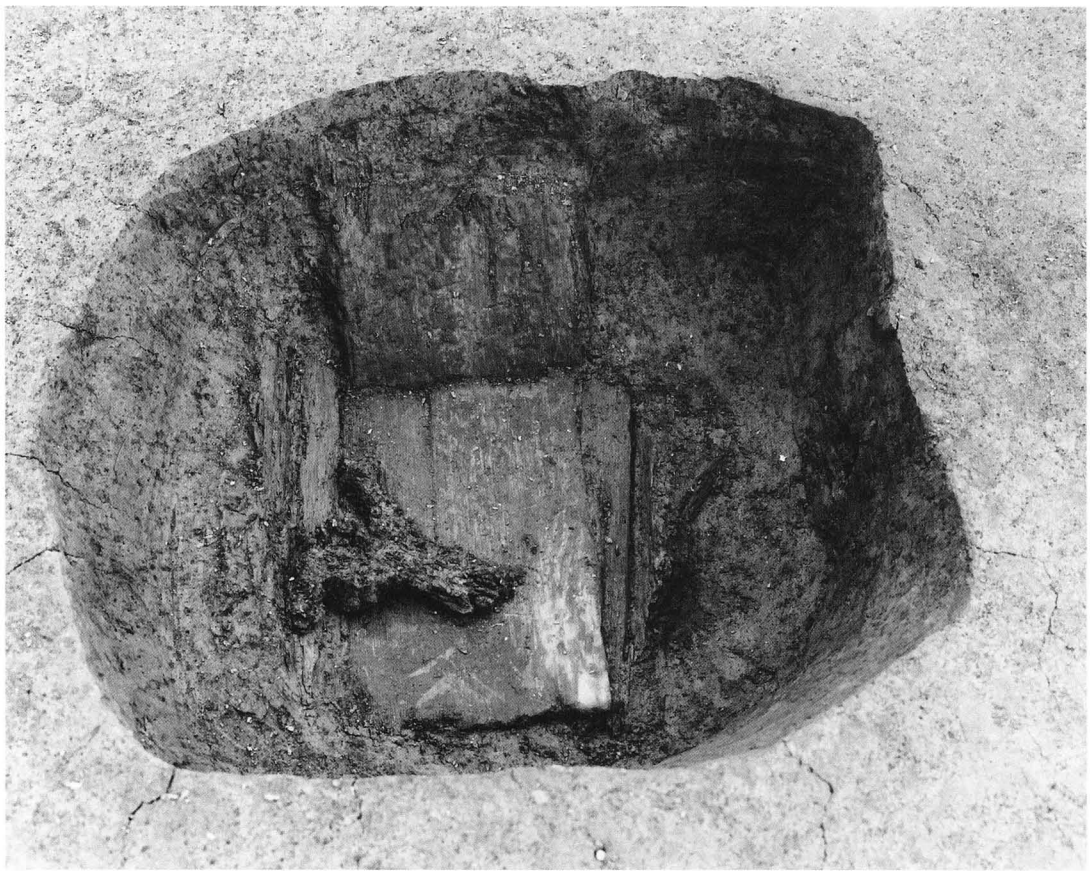
墓4



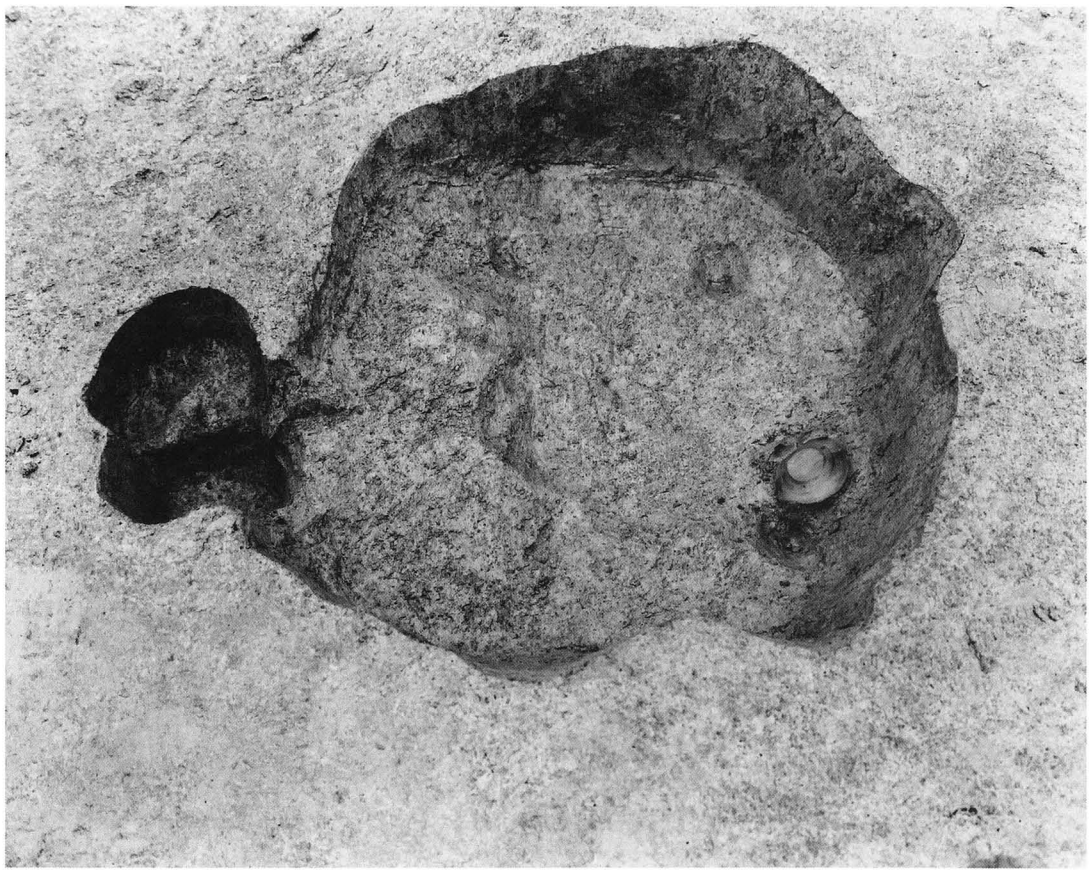
墓6（1）木棺・遺物出土状況



墓6（2）人骨出土状況（西から）

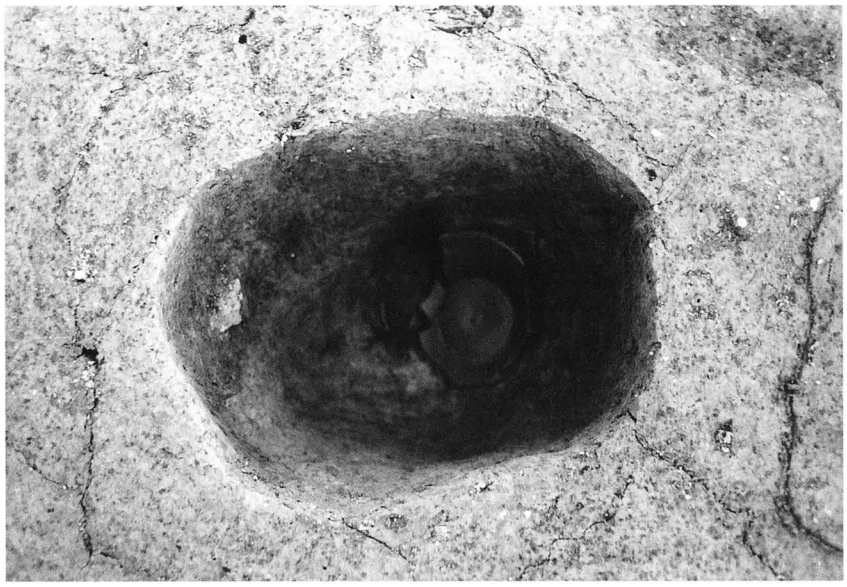


墓6（3）人骨出土状況（北から）

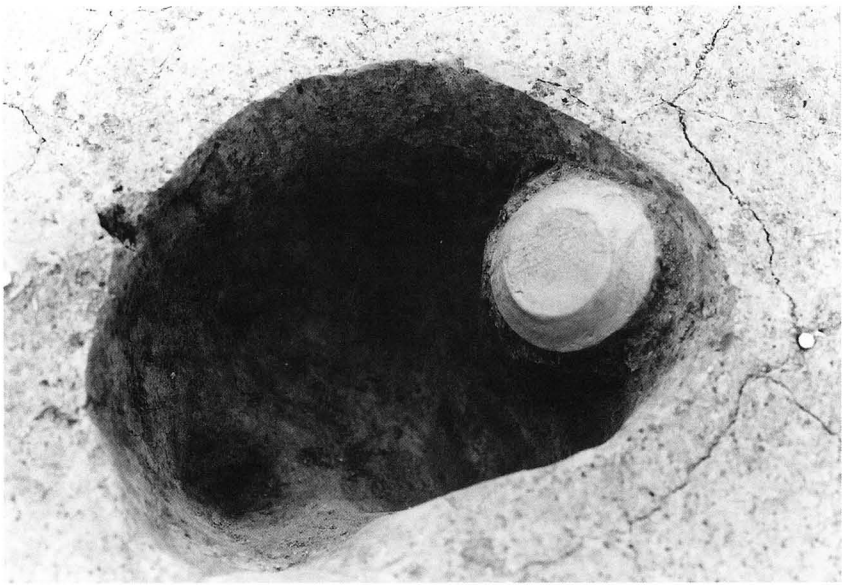


墓5

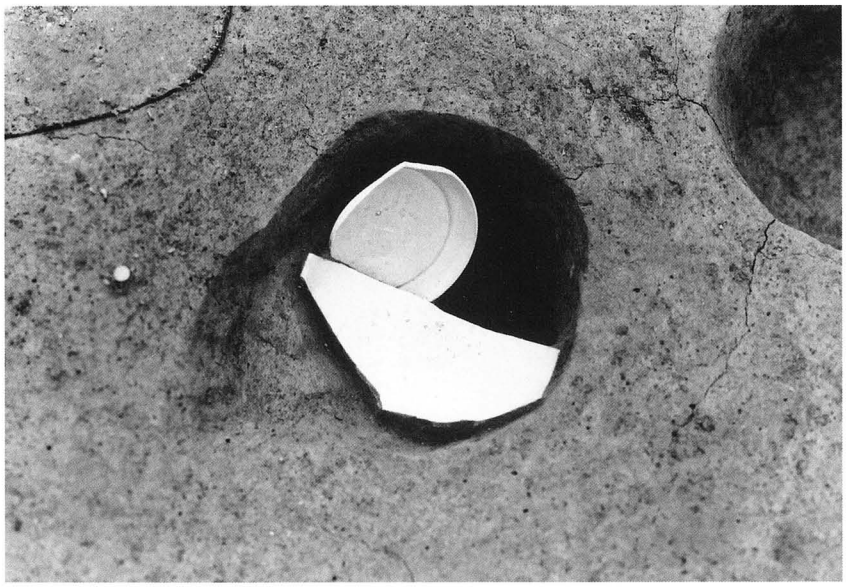
図版14



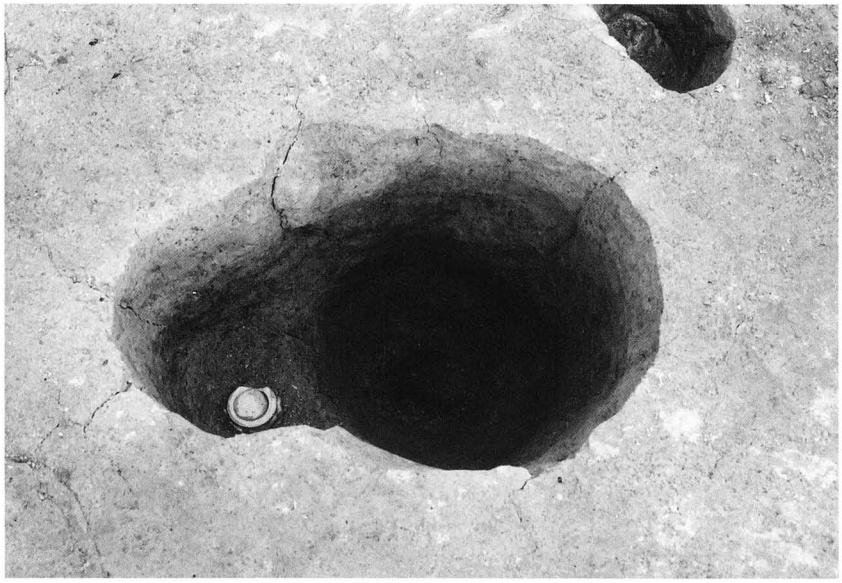
P197



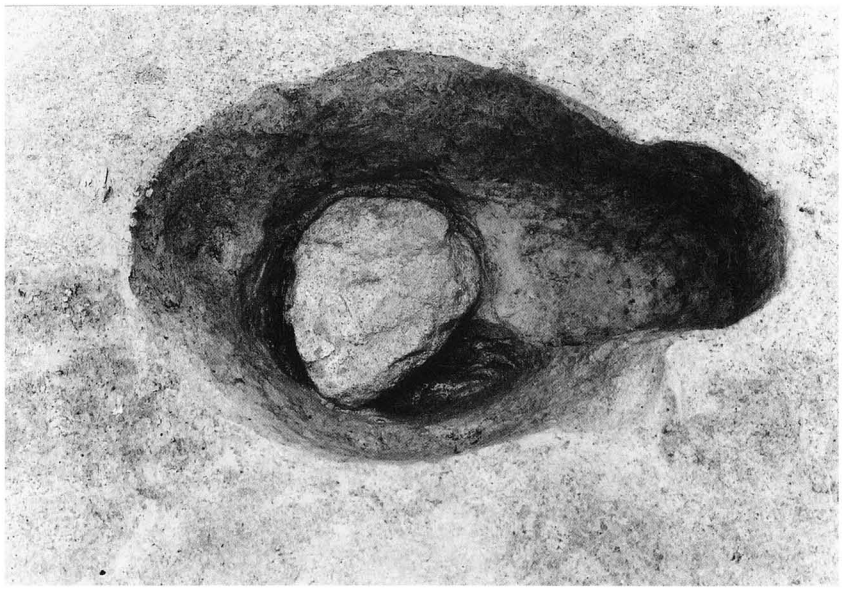
P450



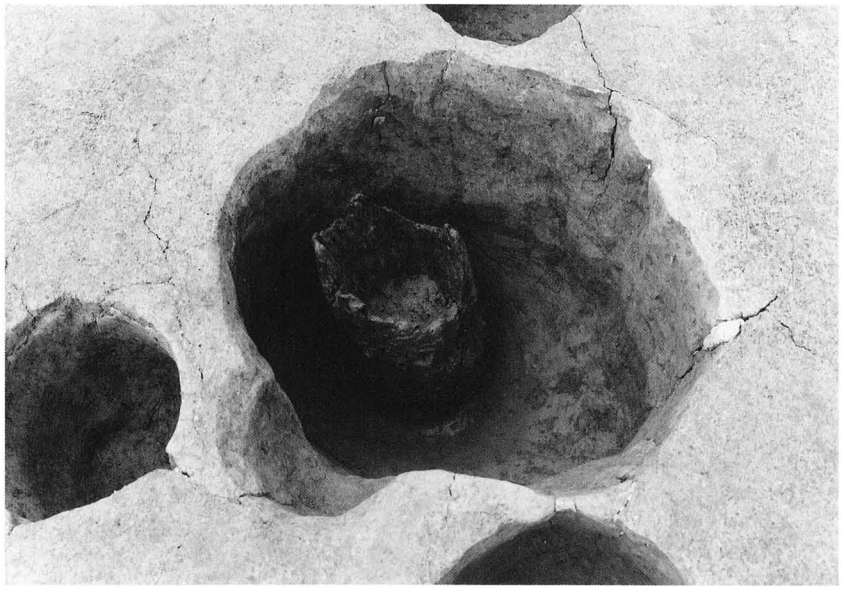
P693



P1318

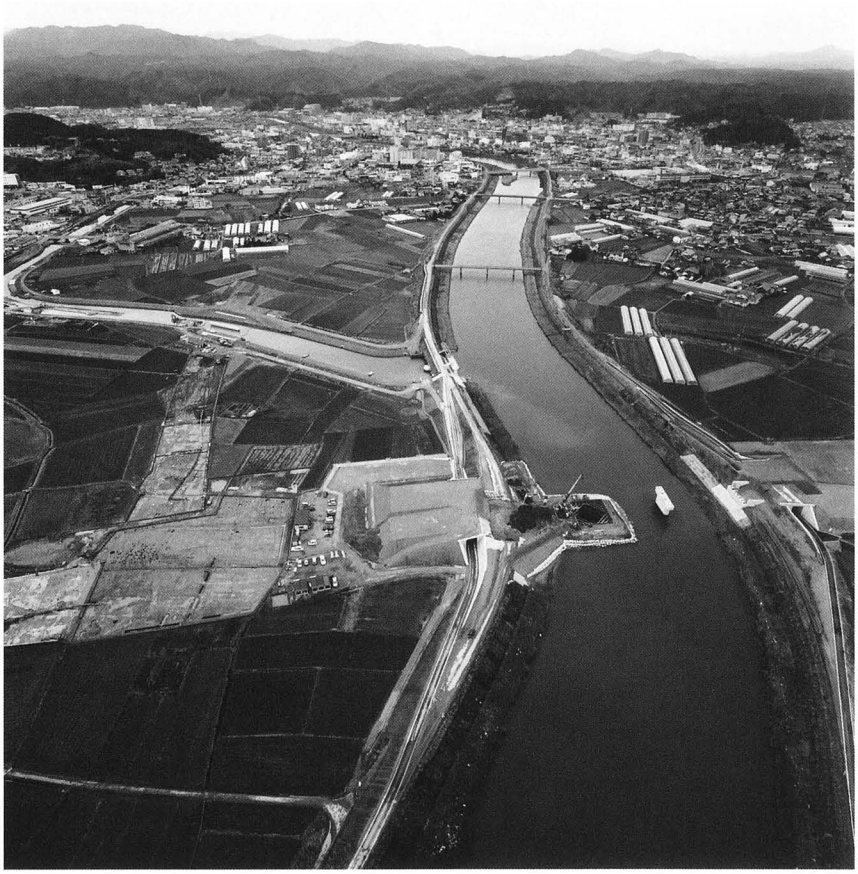


P1286

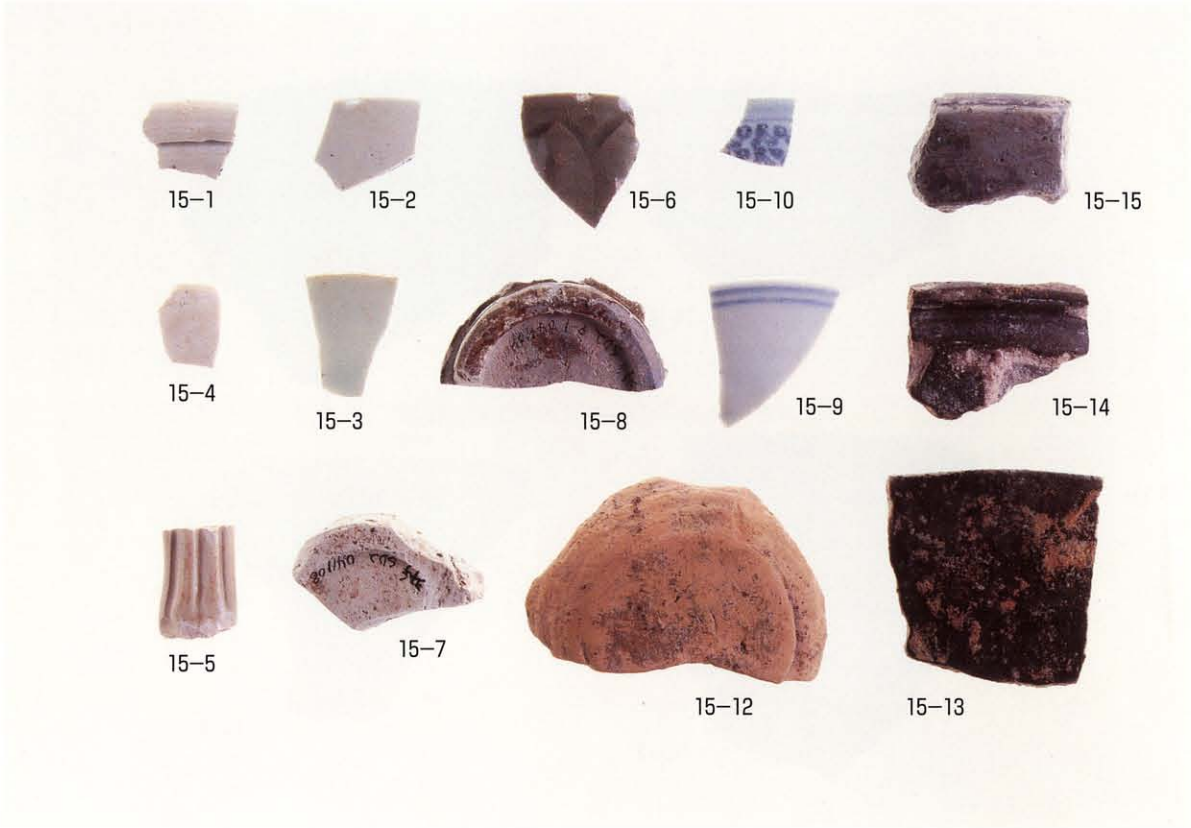


SK83

沖手遺跡　平成16年度　調査区及びその周辺（南から）

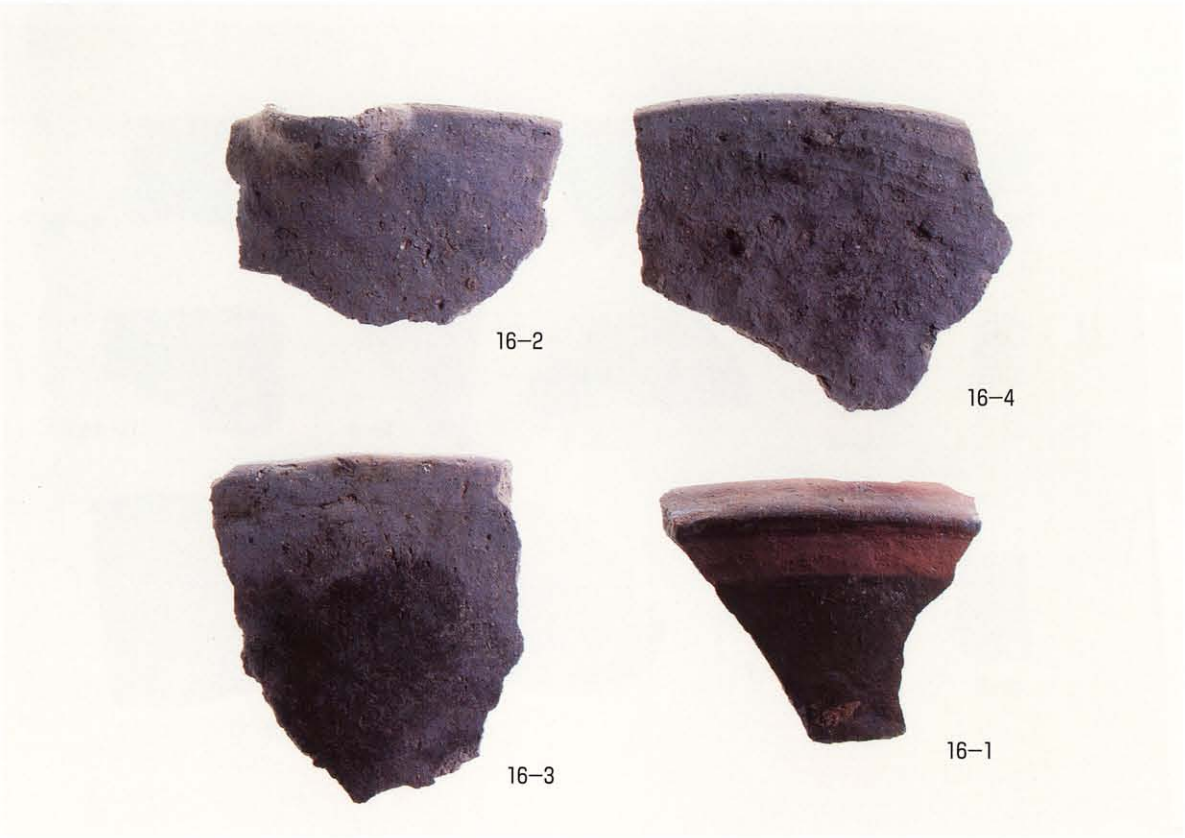


沖手遺跡　平成16年度　調査区及びその周辺（北から）

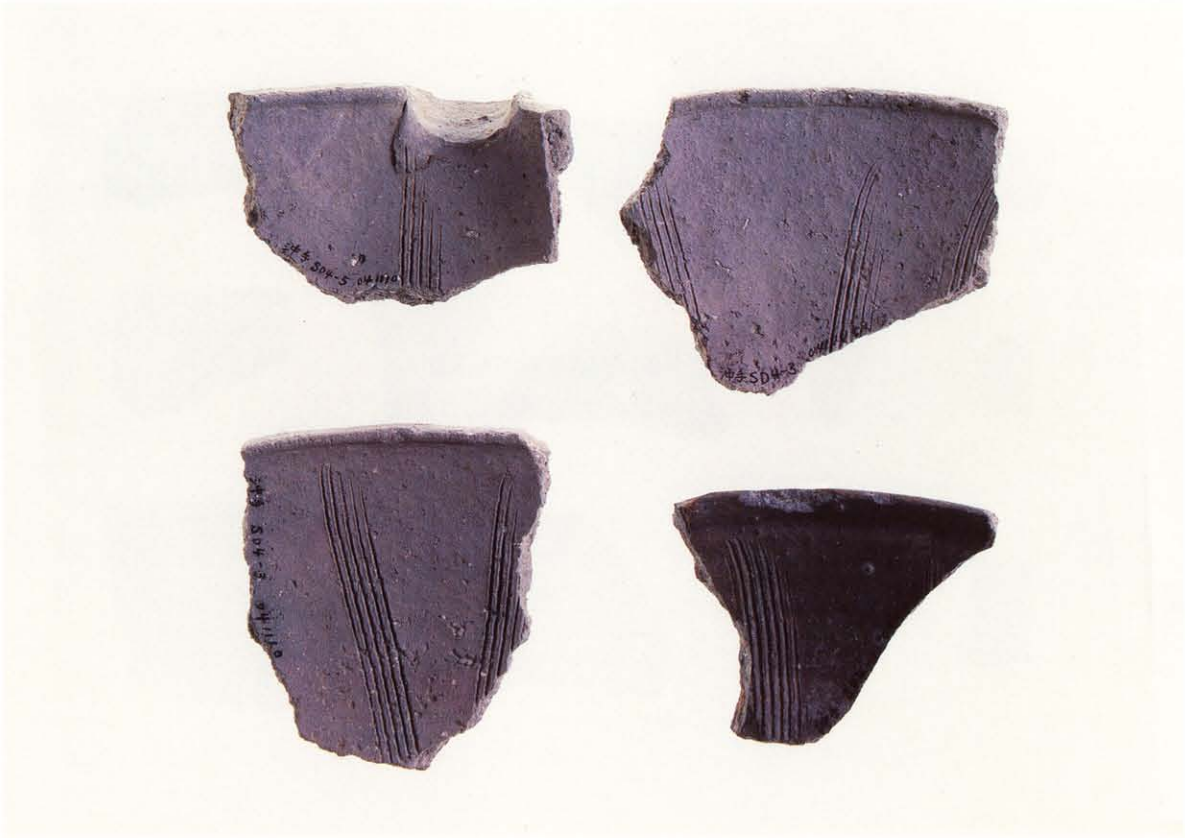


溝状遺構２　出土遺物（外面）

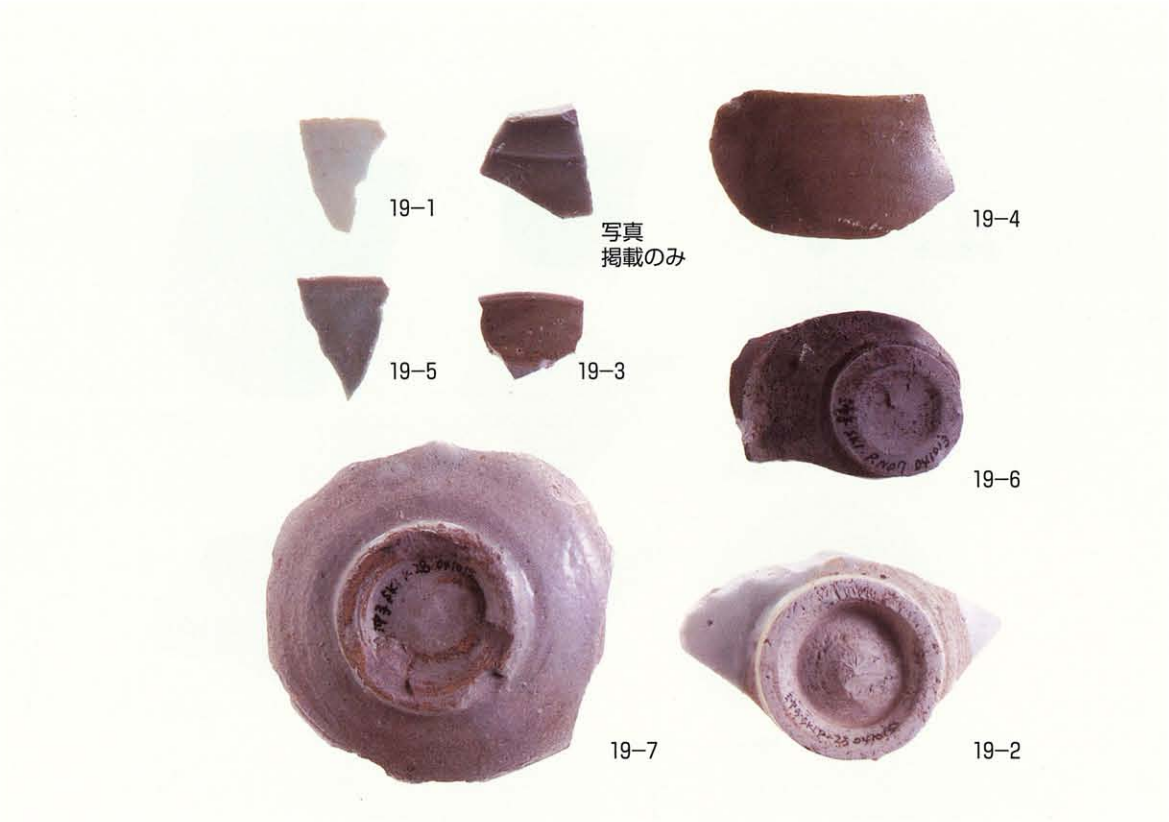
溝状遺構２　出土遺物（内面）



溝状遺構３　出土遺物（外面）

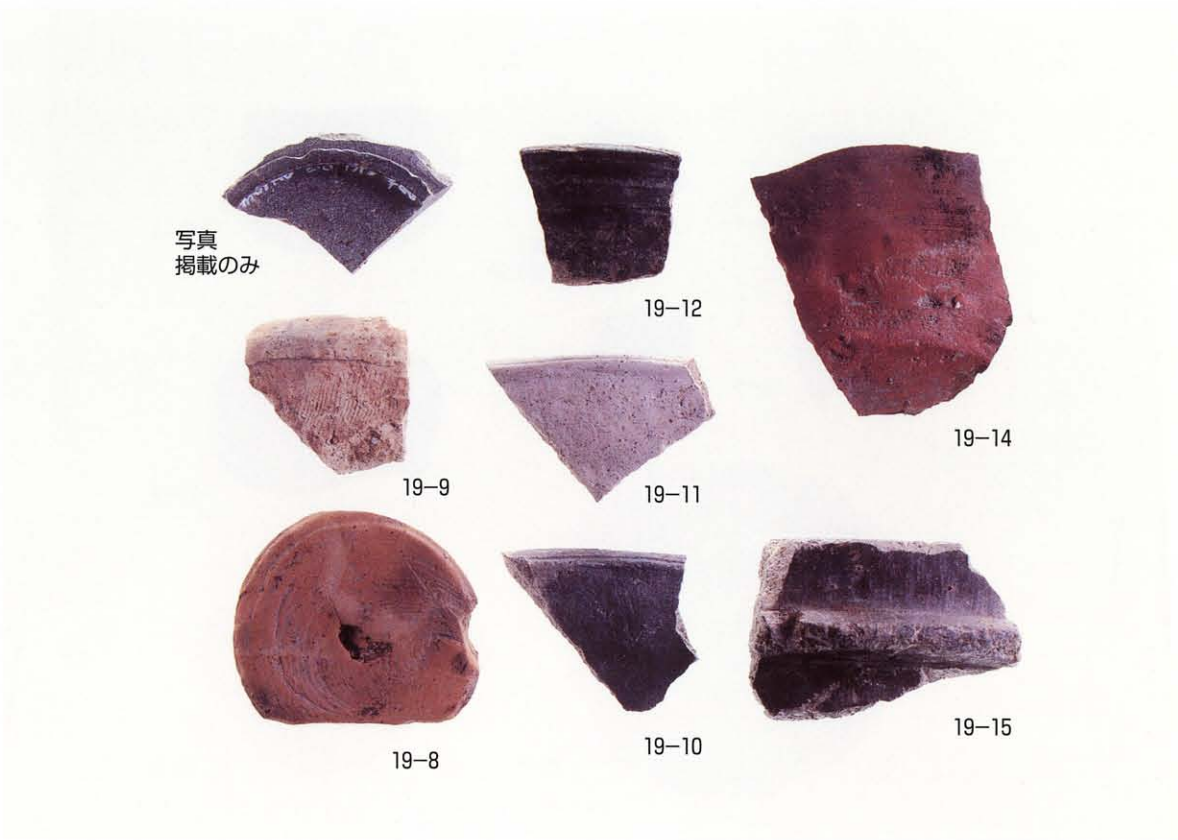


溝状遺構３　出土遺物（内面）



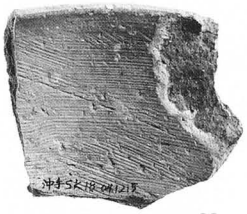
井戸１　出土遺物（１）（外面）

井戸１　出土遺物（１）（内面）

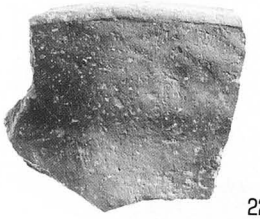


井戸１　出土遺物（２）（外面）

井戸１　出土遺物（２）（内面）



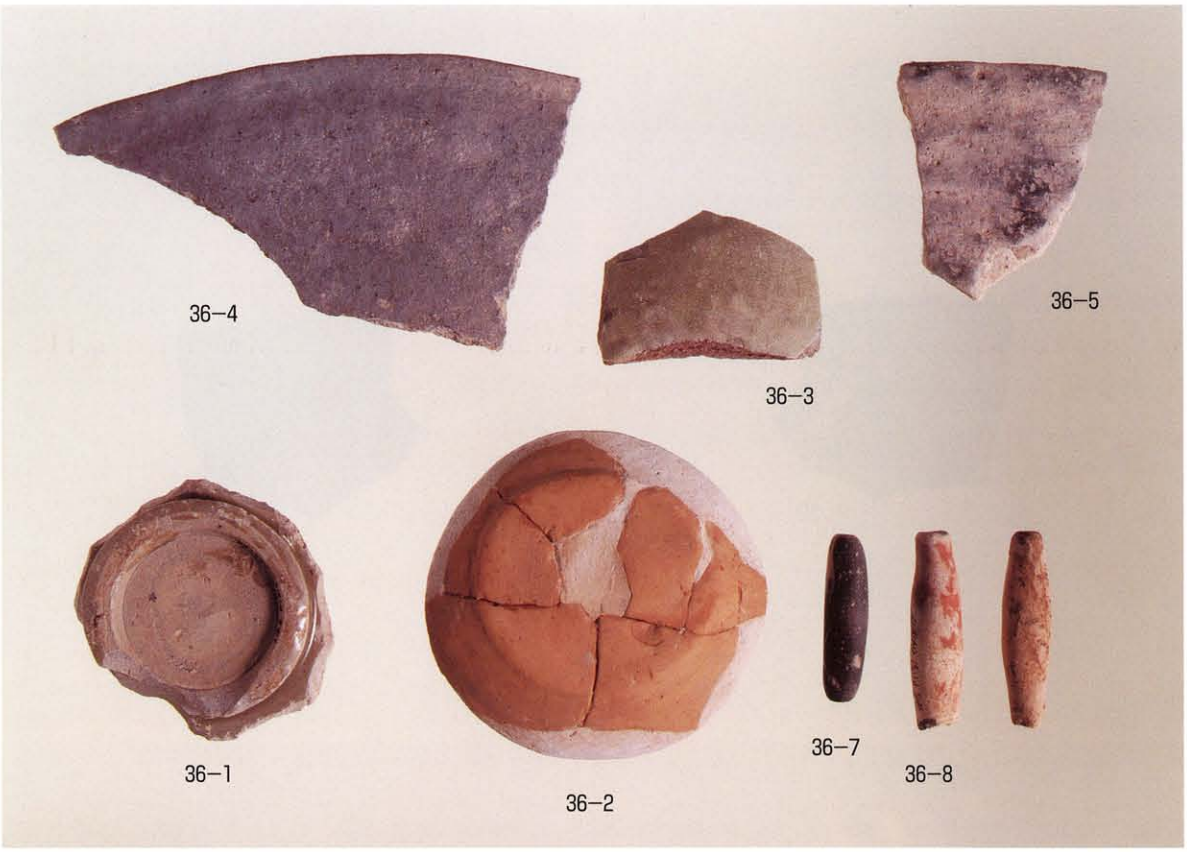
22



22

25−1　　25−2

井戸３・井戸４　出土遺物

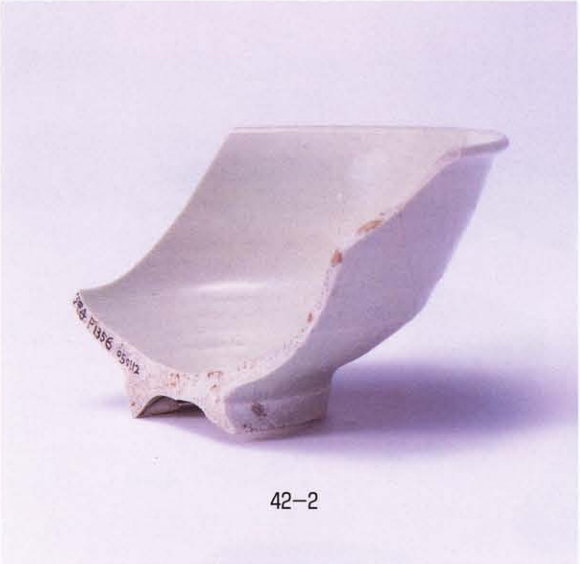


建物跡３　関連遺構出土遺物（外面）

建物跡３　関連遺構出土遺物（内面）

建物跡４　関連遺構出土遺物（外面）

建物跡４　関連遺構出土遺物（内面）



42−2

31−1

42−2

60−1

42−2

20　　43

建物跡関連ピット・SK26出土遺物（磁器・陶器・銭貨）

51−1

49−1

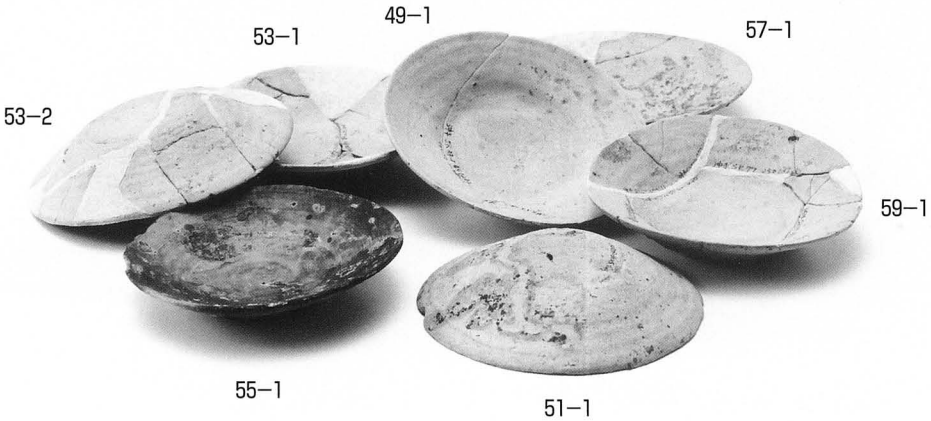
55−1

53−2

53−1

57−1

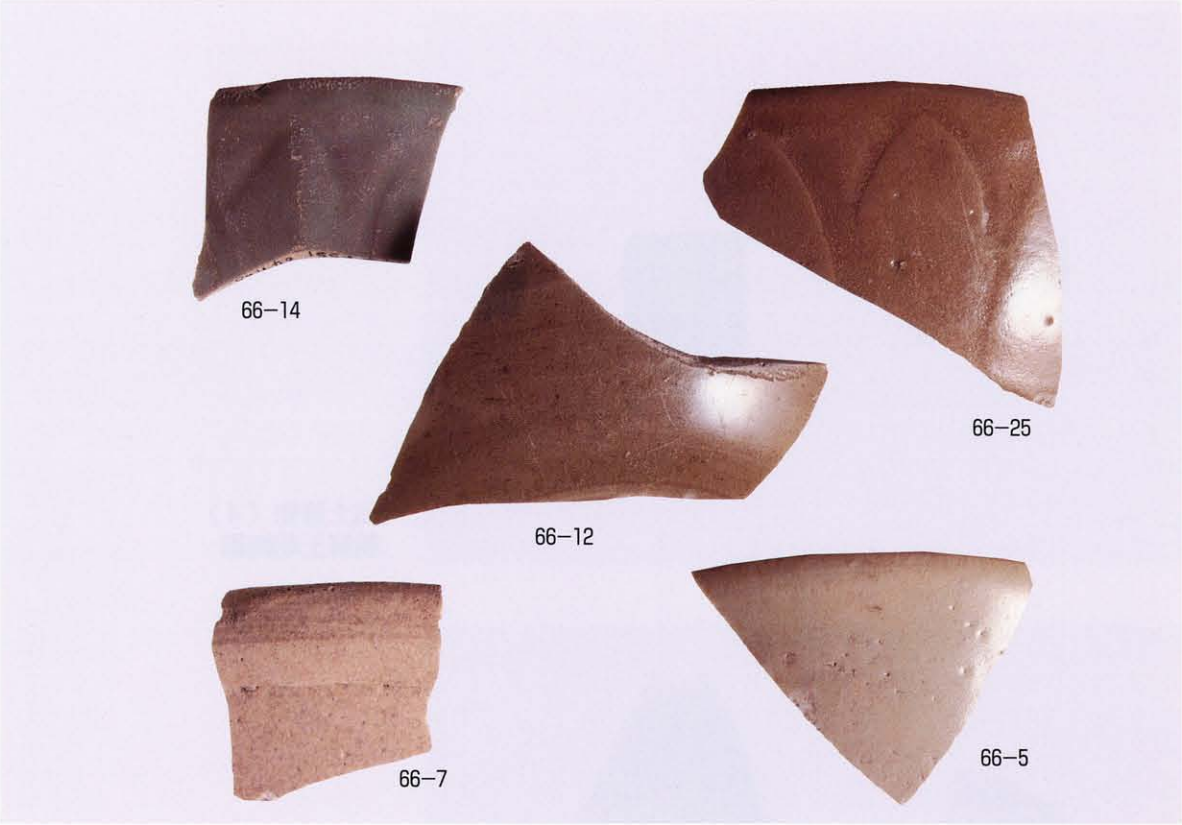
59−1



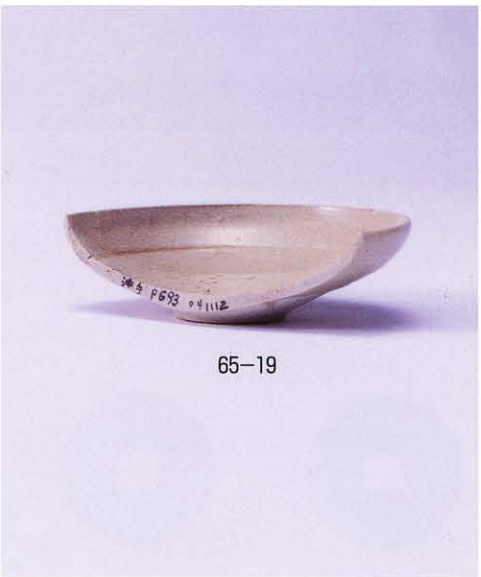
墓　出土遺物

出土遺物（1）磁器（外面）

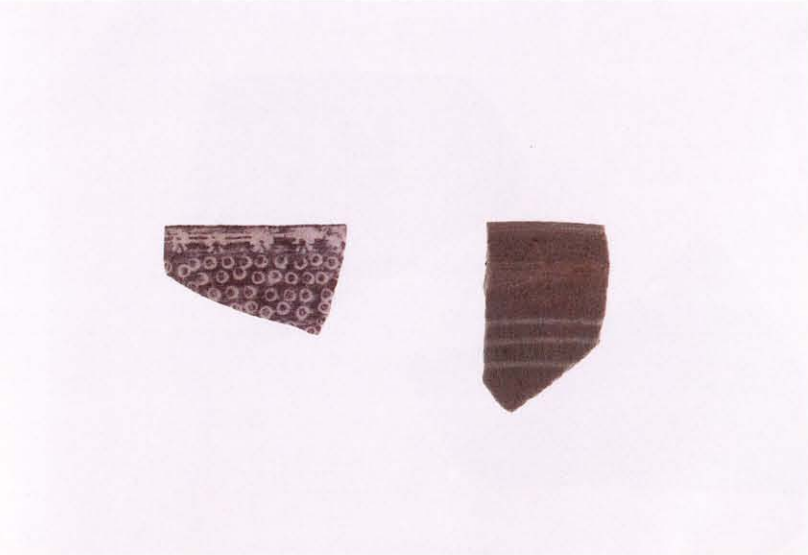
出土遺物（1）磁器（内面）



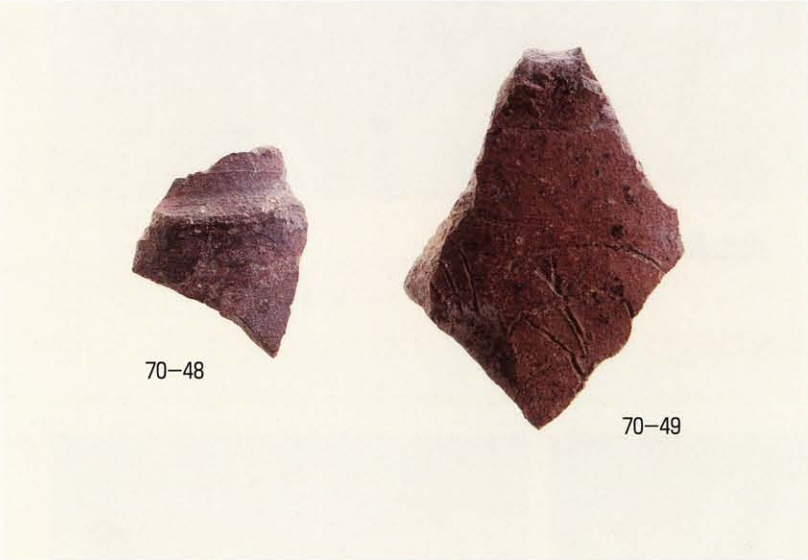
出土遺物（2）磁器



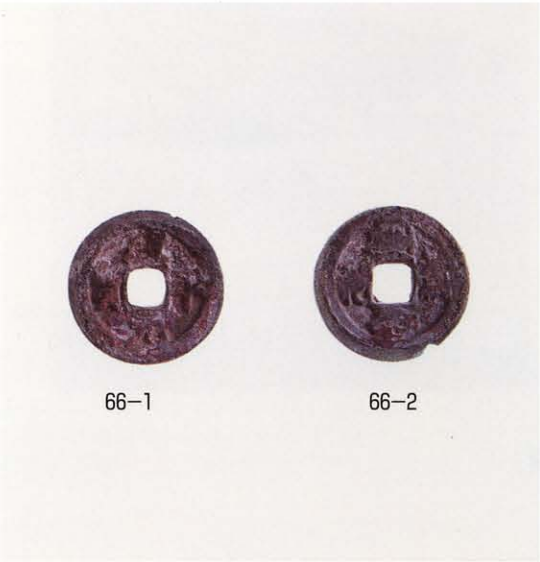
出土遺物（3）磁器



出土遺物（4）
朝鮮王朝陶磁



出土遺物（5）
陶器

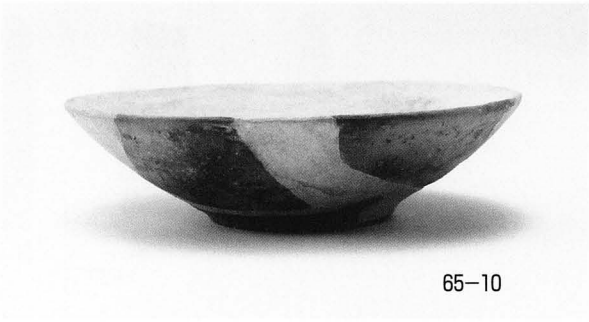


出土遺物（6）
銭貨

65−1

65−2

65−6


65−10

65−11

65−23

68−14

68−22

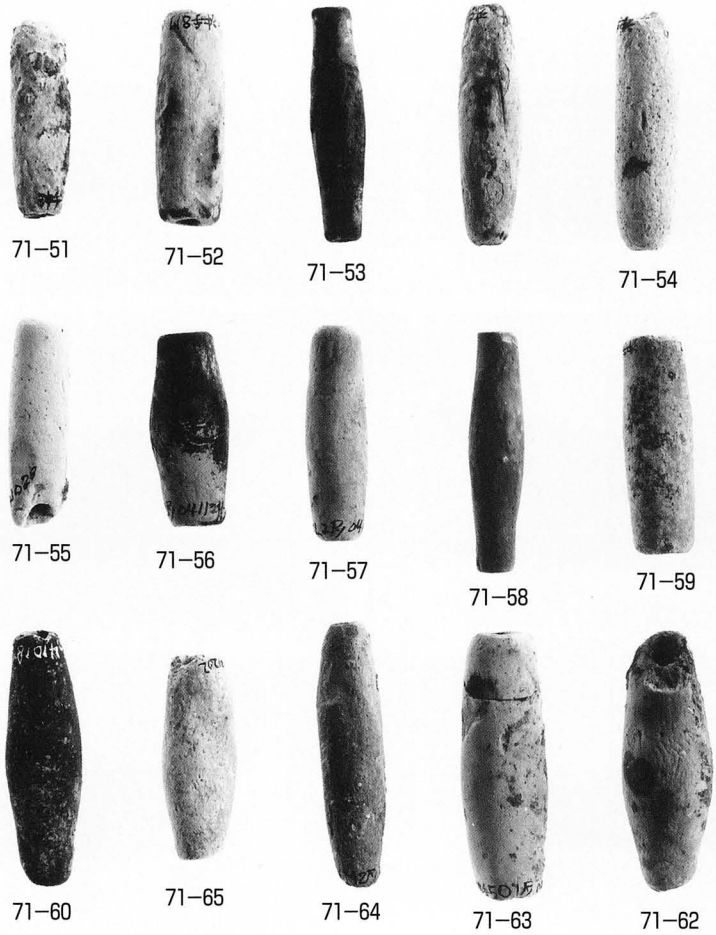
68−6

68−4

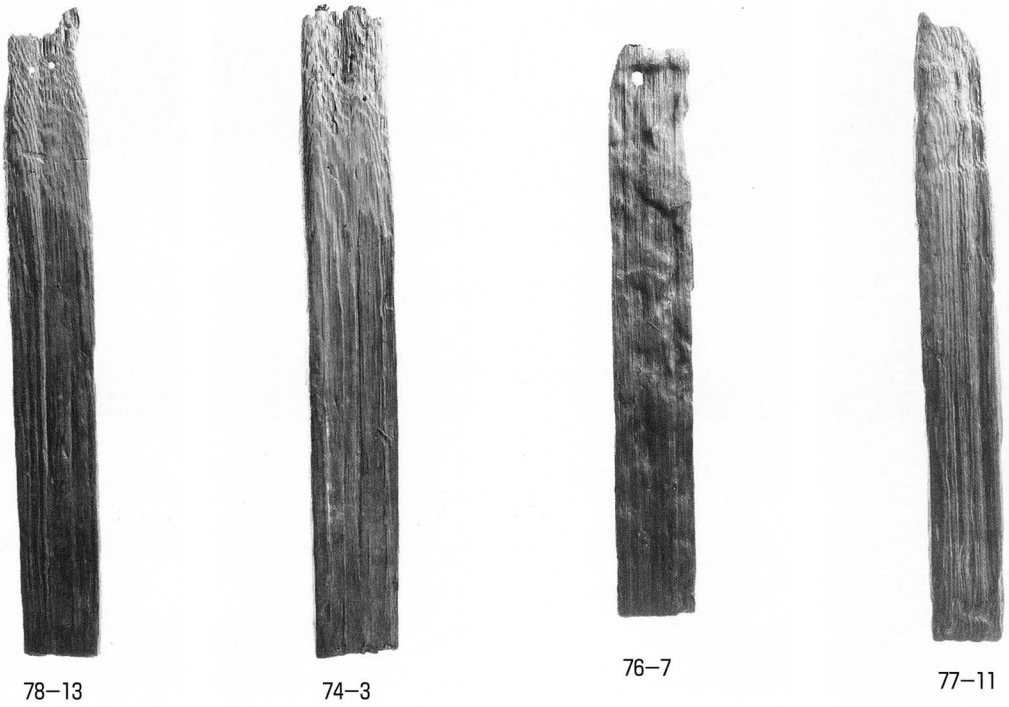
68−9

68−11

出土遺物（５）土師器



出土遺物（６）土錘



井戸１　井側組桶材

81−3

82−4

83−9

84−12

井戸４　井側組桶材

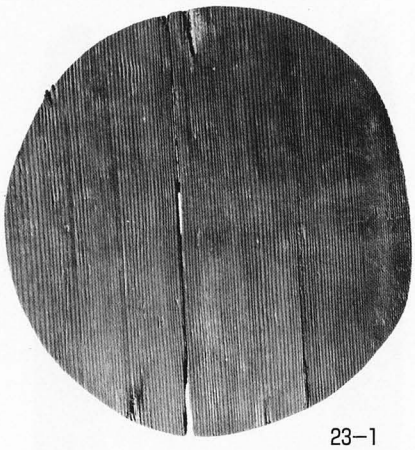
88−6

88−5

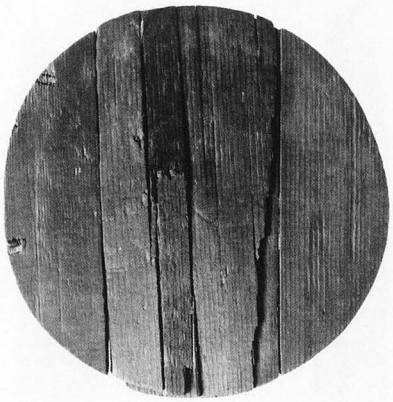
88−4

89−9

井戸５　井側組桶材

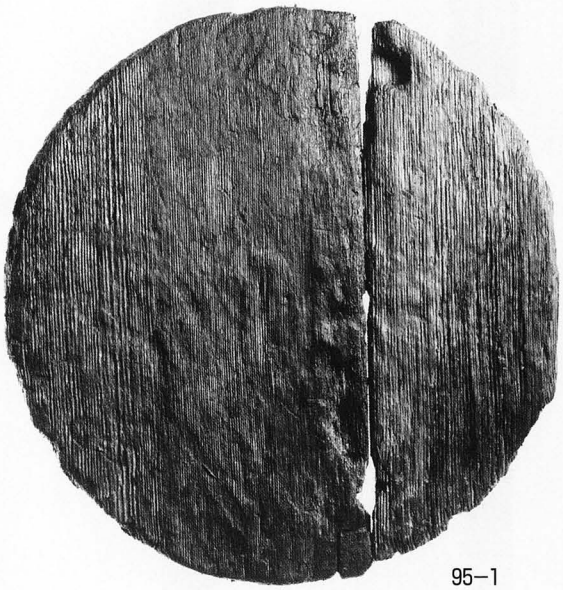


23−1

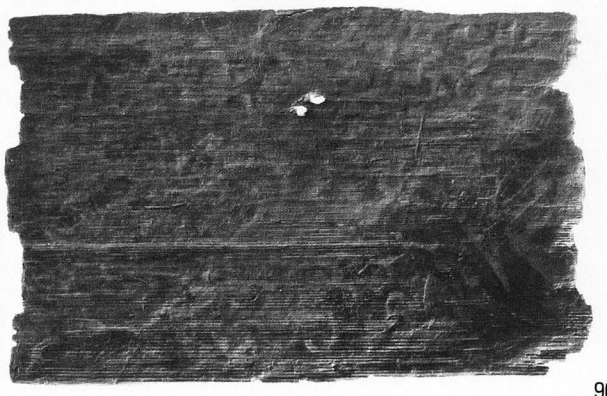


23−2

28−1



95−1



96−1

木製品、墓２・墓６棺材

報 告 書 抄 録

フリガナ	オキテイセキ
書名	沖手遺跡
副書名	
シリーズ名	益田道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	3
編著者名	田原淳史・谷　徹
編集機関	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター ホームページ　http://www.pref.shimane.jp/section/maibun/
所在地	〒690-0131　島根県松江市打出町33番地 TEL：0852-36-8608(代)　E-mail：maibun@pref.shimane.lg.jp
発行年月日	2006年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯※	東経※	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
沖手遺跡	島根県益田市(シマネケンマスダシ) 久城町(クシロチョウ)	32204	Q271	35° 13′ 31″	132° 57′ 42″	2004.9.6～ 2004.12.24	3500m²	一般国道 9号 (益田道路) 改築工事

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
沖手遺跡	集落	鎌倉 室町	建物跡　6 井戸跡　5 墓　6 溝状遺構　3 土坑 ピット	磁器 陶器 土師器 須恵器 木器 鉄器 銭貨	益田川下流域に展開した大規模な集落

要約

沖手遺跡は益田川下流の右岸低地に立地する遺跡である。古墳時代から江戸時代までの遺物が確認されているが、中心となるのは鎌倉時代・室町時代である。当該期の遺物をはじめ建物跡・溝状遺構・井戸跡・墓など多くの遺構が検出され、中世を通じて集落が形成されていたと考えられる。

この集落は流通に関わる集落であったことが推測されるが、今後さらに検討が必要である。

※緯度・経度は日本測地系による

益田道路建設予定地内
埋蔵文化財発掘調査報告書3

沖手遺跡

—1区の調査—

発　行　2006（平成18）年3月
発行者　国土交通省中国地方整備局
　　島根県教育委員会

編　集　島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

印　刷　有限会社伊藤印刷